



2023年6月26日

株式会社立花商店 生田 渉

## (新) 週刊カカオニュース第78号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。今週のカカオニュースを配信させていただきます。

### 1. 世界最大のカカオ生産者、新たな価格決定メカニズムを検討中(6/7)

世界最大のカカオ生産者は、森林伐採や児童労働に関するEUの新たな規制を遵守するためのシステム構築の負担に見合う対価を得る方法を検討している。

コートジボワールと隣接するガーナの両国は世界生産量の約3分の2を占め、価格設定の仕組みについて業界関係者や専門家と協議していると、コートジボワール・ガーナ・ココア・イニシアチブのアレックス・アサンボ事務局長は述べた。(⇒この専門家会議に10月—3月に出席していました)

12月に合意されたEUの規則では、輸出業者はヨーロッパに販売されるカカオが森林破壊された土地で栽培されたものでないこと、または児童労働を利用したものでないことを証明する必要がある。

アサンボ氏は、「両国とも、自国のカカオのトレーサビリティ・システムをサポートするため、生産者の国勢調査を開始した」と述べた。「市場価格には持続可能性コストやコンプライアンス・コストは含まれていません。両国は、EUの新基準への完全準拠にどれだけのコストがかかるか、まだ研究中だという。

新たな変更は「単に押し付けることはできない。「すべての利害関係者の合意が必要だ」。

2019年に生産者の給与を改善するためにトン当たり400ドルの課徴金が導入されて以来、トップ生産者は昨年、豆の品質に対するプレミアムを設定するために協力することに成功した。

いわゆるLiving-Income Differentialは、カカオ価格の豆の品質要素の割引によって相殺されることが多かった。

このイニシアチブは、加盟国を拡大し、価格をよりコントロールするために、ナイジェリアとカメルーンというアフリカの他の2つのカカオ生産国とも交渉中である。

「ナイジェリアとカメルーンは関心を示しており、現在交渉中です。「カメルーンとナイジェリア以外にも関心を持つ国はたくさんある。」

### 2. ガーナが中心となりアフリカのカカオ取引所設立を検討中(6/23)

ガーナのカカオ規制当局によると、世界最大のカカオ生産国は、チョコレートの原料となるカカオの価格と流通に影響力を持つため、アフリカでのカカオ取引所の設立を模索している。

世界のカカオの約75%を生産する西アフリカのコートジボワール、ガーナ、ナイジェリア、カメルーンは、「価格、品質管理、フェアトレード、持続可能性といった重要な問題」に対処するため、取引所設立に向けた共同フィージビリティ・スタディを開始したと、ガーナ・ココア委員会のジョセフ・ボアヘン・エイドゥ最高経営責任者(CEO)は、首都アクラで開催された協議会の傍らでインタビューに答えた。

アフリカの生産者は過去に、カカオの1トンあたりの価格を上げる方法を模索してきた。コートジボワールとガーナは2019年、先物価格を上回る1トン400ドルのプレミアムを課した。しかし、規制当局が、需給によつ

て決定される1トン当たり最大200ドルの品質ディスカウントによって損なわれていると不満を表明しているため、いわゆる生計費差は依然として論争的となっている。

現在、両国はまた、ヨーロッパに販売されるカカオが森林伐採された土地で栽培されたものでないこと、または児童労働を使用したものでないことを証明することを輸出業者に義務付ける欧州連合の新しい規制を遵守するためのシステムを構築しなければならない負担を支払う方法を研究している。

ローカルな取引所が対象とする問題をどのように解決するかは今のところ不明である。カカオはすでにロンドンとニューヨークの先物取引所で取引されている。

「この研究では、既存の商品取引所のすべてのモデルを検討し、アフリカのカカオ取引所に最も適したものを開発する予定です」とボアヘン・エイドゥ氏は語った。

### 3. 今週のアフリカのカカオ：豆の輸送、雨から回復(6/20)

- ・今月初めの雨により、トラックは港にアクセスできなかったが回復しつつある。
- ・ナイジェリアの生産者は輸送コスト上昇に対処する方法を模索

トップ生産国のコートジボワール南西部のカカオ生産者とバイヤーは、乾燥した天候を利用して豆をサンペドロ港に輸送している。

西アフリカ全土の生産者は、ミッドクロップの収穫を終え、豆を搬出している。しかし、最近一部の地域で洪水が発生したため、生産者は輸出用のカカオを国内の主要港に輸送することが困難になり、供給懸念が高まり、価格が上昇した。

コートジボワール南西部の町 Gabiadji の生産者であり協同組合員である Inoussa Sawadogo 氏は、カカオ生育は回復しており、カカオ豆のサイズも最近より良好になってきていると述べた。

《その他の国のカカオ生産者》

カメルーンでは、生産者が豆を密輸している。これは同国の2030年までのカカオ増産計画に影響を与える可能性がある傾向で、カメルーンの実産者は、国内価格が低いと、より良い価格を得るために、隣国ナイジェリアに豆を密輸する動きが活発になる。

生産量第2位のガーナの生産者は、インフレ率の上昇と通貨安を補うため、次回のメインクロップの生産者からの買取価格を引き上げるよう政府に求めている。

首都アクラの北に位置するクワルベンの生産者、マイケル・アチャンポンは、「政府には、新シーズンに向けて買取価格の引き上げを検討してもらいたい」と語った。

ナイジェリアでは、輸送コストを削減するために労働者用の生産者を建設する生産者もいる。先月、ナイジェリアの大統領が燃料補助金廃止の公約を実現すると発言したことで、ガソリン価格は跳ね上がった。

### 4. 甘党は要注意!カカオの価格高騰によりチョコレートの価格が上昇する見込み(6/22CNN)

価格が上がることは、苦境にあるカカオ生産者にとってはありがたいことだ。しかし、こうした価格は、他の主要なチョコレート原材料の価格高騰と並んで、予算を気にするスイーツ・ショッパーにとってはあまり良いニュースではないかもしれない。今年に入り、カカオ先物は約21%上昇した。よくあることだが、価格の上昇は需要が供給を上回っているためだ。

今シーズンのカカオの収穫量は、おそらく作物の病気と大雨のため、圧倒的に少ない。エルニーニョは熱帯太平洋で自然発生する現象で、通常、世界の気温を上昇させ、カカオの栽培には不利な条件をもたらす。一方、需要はヨーロッパとアジアを中心に堅調に推移していると、ラボバンクの商品アナリストでカカオと乳製品市場を担当するポール・ジュールズ氏は指摘する。

## 供給不足

当初、予測筋は今年の供給は十分であると予想していた。しかし、数ヶ月前、供給が期待に追いついていないことに気づいた。

国際カカオ機関の4月の月報によれば、「2021/22年のカカオ年に比べ、2022/23年のカカオシーズンは生産量の減少により供給不足に向かっている」。

作物病害が不本意な結果の原因かもしれない。

「私たちが目にしたのは、潜在的に、シュート腫脹病の症例が増えたことです」とジュールズ氏は説明する。カカオ腫脹性シュートウイルスは昆虫によって媒介され、茎の腫れなどが特徴である。この病気は、カカオを供給する国々で何年にもわたって生産を妨げてきた。この致命的な病気と闘うために、生産者はしばしば病気の木を根こそぎ取り除き、代替りの木を植えなければならない。新しい木が生産量のピークに達するには何年もかかるとジュールズ氏は指摘する。

カカオの木が高齢化し、カカオの実があまりならないなど、他の要因も収穫量減少の一因になっている可能性があるという。世界一のカカオ供給国であるコートジボワールの大雨も、春と秋に収穫される作物を遅らせる可能性がある。カカオ機構は指摘し、雨と湿度が作物の病気が収穫に悪影響を及ぼす可能性を高めると付け加えた。そして今年の複雑な状況に加え、エルニーニョが来シーズンの収穫を脅かしている。

## エルニーニョが状況を悪化させる

コートジボワールは、主要なカカオの収穫が「エルニーニョ気候が強まると予想されるため、苦戦を強いられる可能性がある」と、農業データを分析するGro Intelligenceの最近の投稿で警告している。この地域の天候不順は、世界のカカオ市場に大きな影響を与える。Gro Intelligenceによると、コートジボワールは世界のカカオ豆の半分近くを生産しており、ガーナ、カメルーン、ナイジェリアを合わせると世界の供給量の約4分の1を占めている。そのため、Gro Intelligenceの記事によれば、「この地域の天候パターンが世界のカカオ価格と供給に与える影響は非常に大きい」。

価格が上昇すれば、苦境にある生産者は多少救われるかもしれない。

アムステルダムに本社を置くトニーズ・チョコロンリー社は、カカオのサプライチェーンにおける搾取の削減を目指すチョコレート会社で、価格の上昇を喜んでいる。「カカオの価格が上昇していることは非常に喜ばしいことです。「西アフリカのカカオ生産者が生計を立てるには、カカオ価格はあまりにも低すぎます。コートジボワールとガーナのカカオ生産者に支払われる価格は、カカオ先物によって決定される。コートジボワール（コートジボワール）とガーナのパートナーシップであるコートジボワール・ガーナ・カカオ・イニシアチブのアレックス・アサンボ事務局長は、持続可能なカカオ市場の確立と生産者の安全性向上を目指している。

先物価格の上昇は良いことだが、長くは続かない、と彼は指摘する。「価格は上がるが、おそらくすぐに下がる。生産者にとってより安定した環境を作るため、同グループは、市場価格に上乗せして請求され、変動幅を相殺するのに役立つ「生計収入差額」の開発に取り組んできた。

## あなたにとっての意味

他の菓子メーカーと同様、トニーズもカカオだけでなく、砂糖など他の原材料の商品価格の上昇に見舞われている。そのため、同社は値上げに踏み切った。同社によると、今年初め、トニーズは小売店向けの米国価

格を約8%引き上げ、2015年に米国市場に進出して以来、初めての値上げとなった。バルトゥッセン氏は、同社の今後の価格計画については明らかにしなかった。他のチョコレート会社も同様に値上げしている。カカオコストの上昇は、さらなる値上げの可能性を意味している。

カカオの契約期間は長いので、価格の上昇はまだ買い手には循環していない可能性が高い。しかし、最終的にはチョコレートメーカーがカカオをより多く支払うことになるだろう。ハーシーのCFOであるスティーブン・ヴォスカイル氏は、4月のアナリスト向け電話会議で、価格について特にコメントすることなく、「特にカカオと砂糖は間違った方向に動いている」と述べた。「これらの原材料の値上げによる影響は、23年よりも24年の方が大きくなる可能性がある。ハーシーは、今後の価格設定についてコメントを避けた。しかし、ジュールズ氏は、消費者はコスト上昇の影響をよく理解しているのではないかと考えている。

「消費者はまだその影響の全容を見ていないと思います」と彼は言う。新しい契約が結ばれれば、消費者にとっては値上げの全容が見えてくるでしょう」。

この値上げは、すでに高騰しているチョコレートの小売価格に上乗せされることになる。アメリカの小売店売上を追跡しているNIQ社のデータによると、4月29日までの1年間で、前年同期と比べ、チョコレートの価格は平均14.5%上昇した

## 5. ナイジェリアのクロスリバー州とオンド州でカカオ価格が上昇(6/23)

ナイジェリア、イバダン-カカオ価格は今週、ナイジェリアのクロスリバー州とオンド州で上昇したが、オスン州、アビア州、アクワイボム州では横ばいであったと、ナイジェリア・カカオ協会関係者やトレーダーが水曜日に述べた。

ナイジェリア第二のカカオ生産地であるクロス・リバー州では、CANのゴドウィン・ウクウ氏によると、輸出用として検査・認証されたグレードの高いカカオが1トン196万ナイジェリア・ナイラ(2,820ドル)で取引され、6月8日の193万NGNから上昇した。

このチョコレート原料は、国内最大のカカオ生産地であり、南西地域の5つのカカオ生産地の1つであるオンドで、195万ナイジェリア・ナイラの値がついたと、同州最大の都市アクレにある土着のカカオ輸出会社のトレーダーが述べた。

この作物は6月8日にオンドでNGN1.83に対してNGN180万で販売されたとトレーダーは語った。同じく南西部のオグン州では、6月8日の193万NGNに対し175万NGNと安値で取引されている、とCAN関係者でトレーダーでもあるノジーム・オロミデ氏は語った。

同国中西部で最大のカカオ生産地である江戸では、カカオは5月19日の175万~185万NGNに対し、185万NGNで取引されている、とトレーダーは述べた。

南西部に位置するナイジェリア第3位のカカオ生産地であるオスン州では185万NGN、南東部のアビア州では180万NGN、南部のアクワイボム州では170万NGNで安定している。

## 6. オーストラリア最古のチョコレート会社ヒリアーが破産(6/21)

オーストラリアで最も歴史のあるチョコレート会社ヒリアーが、営業経費の高騰を理由に任意整理に入った。オーストラリア最古のチョコレート会社アーネスト・ヒリアー・チョコレートが再び任意整理に陥り、数十人の従業員が職を失うことになった。

メルボルンを拠点とし、600種類以上のチョコレート製品を製造する同企業は、営業経費の維持に苦慮した結果、水曜日に任意管財人を選任したと発表した。

WLP Restructuring Partners の Alan Walker 氏と Glenn Livingstone 氏は、Ernest Hillier Chocolates を所有する Chocolate & Confectionery Company Pty Ltd の任意管財人に任命された。

ウォーカー氏は、「このような由緒あるチョコレートメーカーが、経営コストの上昇の中で苦境に立たされたことは残念ですが、この象徴的なブランドを救うために可能な限りのことをするために、すべての利害関係者と協力しています」と語った。



「影響を受けるすべての関係者と緊密に協力し、事業の状況を把握し、適切な買い手または投資家を見つけるために緊急に動いています。

製造はすべて中止され、約 60 人の従業員が直ちに解雇される。

同社の倒産は 2 度目となる。

2015 年 1 月、前オーナーはカカオ価格の高騰と競争激化を理由に自主管財に入ったが、数ヶ月後に立ち直り、商品の生産を続けていた。

同社は 1914 年、アーネスト・ヒリアー氏がオーストラリア初のチョコレートメーカーとして立ち上げた。

## 7. カメルーン、ナイジェリアに密輸されたカカオ豆を押収(6/20)

カメルーンは週末、ナイジェリアに密輸されるカカオ豆を積んだトラックを押収したと、この作戦を実施したパトロールチームのリーダーが月曜日に語った。押収は、カメルーンとナイジェリアを結ぶ高速道路の Mamfe、Besong Abang、Ekok の各町で行われた。この作戦は、6 月中旬にカメルーン政府が隣国ナイジェリアに密輸されるカカオ豆の取り締まりを決定したことを受けたものである。

カカオ生産者と輸出業者は、リュック・マグロワール・ムバルガ・アタンガナ貿易大臣との会合で、2022-23 年の収穫期に違法な密売により 3 万トンから 6 万トンのカカオを失ったと述べた。

「これはシーズン中のカカオ生産量の約 20% に相当する」とアタンガナ氏は述べた。パトロールチームのリーダーは、今回の取り締まりで押収されたカカオの量は明らかにできなかった。

## 8. 近隣諸国へのカカオの密輸を止めよう - COCOBOD VR マネージャー (6/20)

ガーナ・ココア委員会 (COCOBOD) のオティ&ボルタ地域マネージャー代理であるボアズ・オフォス・アシエドゥ氏は、カカオ生産者に対し、国家に不利益をもたらす近隣諸国へのカカオの密輸をやめるよう嘆願した。彼は、国境を越えたカカオの密輸は、依然としてカカオ生産が直面している課題の一つであり、それゆえ、この慣行に対して彼らを教育し、より多くの生産ができるようにするための集会であると述べた。同氏は、週末にオティ地方カジェビ地区ドディパパセで開催された、両地域のカカオ生産者を対象とした地域集会の最後に語った。

そのため、アシエドゥ氏は、カカオ生産地域の議員に対し、カカオ密輸業者の悪質な活動を監視・防止するため、自警団を結成するよう呼びかけた。

この地域集会では、カカオ生産者に対し、カカオの密輸が経済に与える影響と、このような悪質な行為を止める必要性について教育するとともに、最大の収穫量を確保するためのカカオ栽培のベストプラクティスについて生産者に知識を与えた。

彼によると、カカオ生産者にとって重要なことは、政府がカカオ農業部門に多くの投資をしてきたという事実を理解することであり、特に肥料や農薬などの農業投入物の供給や、生産物を販売センターまで輸送するためのカカオ道路の建設が重要である。

COCOBOD の Oti および Volta 地域普及担当官であるノエル・アイボール氏は、古くなったカカオ農園の植え替えの必要性を強調し、今年は 1000 ヘクタール以上の新しいカカオ農園が耕作されることを明らかにした。

Ayibor 氏はカカオ生産者に対し、雨季の間に両地域のすべてのカカオ農園でカカオの植え付けを完了できるようグループを作るよう要請した。

オティ地方とボルタ地方の受粉コーディネーターの Elorm Kpornu Mensah 氏は、受粉運動はカカオ生産を増加させる介入であると述べ、高収量を確保するためにカカオ受粉運動を活用するよう生産者に再調整を促した。

彼はまた、カカオ生産者がより良い収量を確保するために、定期的な剪定、農園の除草、適切なタイミングでの適切な肥料の散布など、カカオ普及員からの技術的アドバイスを厳守する必要性を強調した。

メンサ氏は、カカオ生産者は古い農法に固執する余裕はないと述べ、研究機関はカカオ生産者が利用でき、カカオ生産を改善する近代的なカカオ農法の研究を行ったと述べた。

彼は、オティ地方とボルタ地方の 3,000 人のカカオ生産者が近代的なカカオ農法の訓練を受けたことを明らかにし、カカオ生産者が改良のために改良普及員が提供する教育に従うことが重要であると述べた。

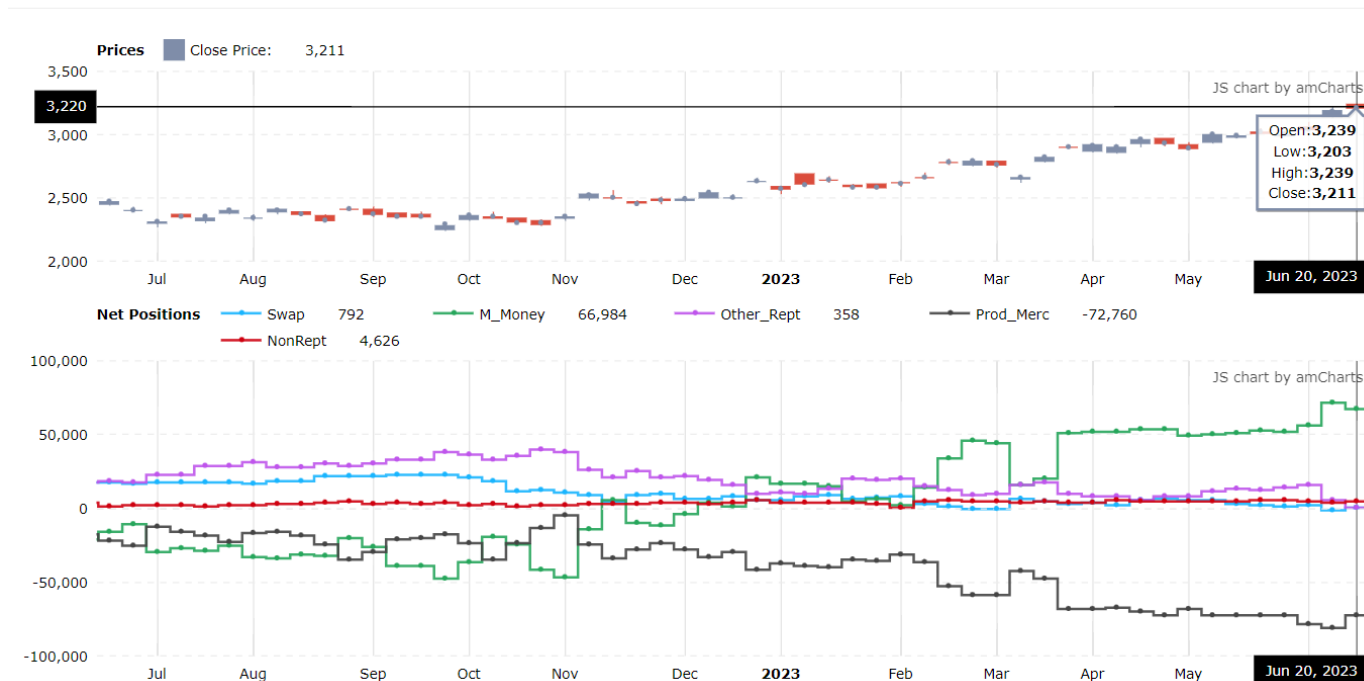
## 9. ファンド勢のNY先物は買い越しポジションが減少(6/24)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを 5,492 ロット減少 (先週は 15,989 の増加) させ、68,398 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、6月20日) の取引が含まれている。

- 総買い数量は 2,123 ロット減少し、131,974 となった。
- 総売り数量は 3,369 ロット増加し、63,576 ロット となった。
- 総売り数量は、過去 3 週で歯一番多い数字。

## 参考分析資料；過去 1 年の NY 市場の実需家 VS 投機筋のポジションと相場価格

### Prices & Net Positions



黒線・・・カカオ磨砕業者やチョコレート製造会社など実需家

緑・・・ヘッジファンドなどの資金運用者

水色・・・投資銀行などスワップディーラー

## 10. ファンド勢のLDN先物は純買い越しポジション増で4週間ぶり高水準。(6/24)

ロンドンのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、先週の買い越しポジションを 647 ロット増やし (先週は 234 ロット増) やし、94,846 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週の数字で言えば、6月20日) の取引が含まれている。

- 純買いポジションの 94,846 ロットは過去 4 週で最も高い数字。
- 総買い数量は今週 251 ロット増加 (先週 84 ロット増) し、99,201 ロットとなった。
- 総売り数量は今週 396 ロット減少し、4,355 ロットとなり、過去 20 ヶ月で最も低い数量

### 参考) ロンドン市場の主要なプレイヤーのポジション状況

#### Commitments of Traders Futures and Options

##### ICE Futures Europe

20/06/2023

MktDate	OI	Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money		
		Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading
20/06/2023	472105	196990	293045	31101	44798	42589	99201	4355	27172
<b>Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader</b>									
20/06/2023	100%	41.7%	62.1%	6.6%	9.5%	9.0%	21.0%	0.9%	5.8%
<b>Number of Traders in Each Category</b>									
20/06/2023	179	43	44	12	14	13	55	9	22

### 今週のつぶやき

カカオの価格がこれだけ高騰しているのだから、きっと 2023/2024 年のコートジボアールとガーナの生産者買い取り価格は相当に上昇すると期待できる。一方で、両国が避けたいのは、どんな時でも前年より生産者からの買取価格を下がる事だ。価格が上がった喜びは、いつか普通になり冷めるが、価格が下がった不満はいつまでも残り続けるし、政治に対する不信感や反対票につながるからだ。

「上げるか、下げるかが問題ではない」「どう上げていくか」が問題なのだ。下げることなく上げ続ける事を基本方針とするのであれば、「少しずつ上げていこうよ」となるのが世の常？アフリカの常である。

一方で、アフリカもインフレに見舞われており、カカオ生産者の生活はますます厳しくなっている。普通なら、一刻も早く国際相場の高値高騰の恩恵を生産者は受けてもいいはずだ。

カカオ国際相場と、生産者価格の関係は、カカオ産業がその国の経済にとって大きければ大きいほど、国の政治、財政、税金、様々な側面が複雑に関係して簡単に上げ下げできない。

昨年末頃からのこの相場の高騰で多くの輸出者や輸入者などの仲介業者の多くは損失を計上しており、契約不履行の話はあちらこちらで聞こえてくる。ここまで相場が一直線に上がり続けるなど誰が予測できたのだろうか。

中間流通者には非常に厳しい年が続くが、せめても生産者の収入が大きく上がる記念すべきになってほしいものだ。